

文部科学省選定
教育映像祭最優秀作品賞・文部科学大臣賞

桐塑人形

林駒夫のわざ



「桐塑人形 林駒夫のわざ」によせて

京都府文化芸術室芸術係主任
元京都文化博物館学芸員

藤本恵子

古代、人は目に見えない自然の力を、神として畏れ敬ってきた。その神の依代としてつくられたのが人形である。林駒夫先生は、この畏敬するもののかたちを人形に託して、今も制作を続ける人形作家である。今回制作されたこの記録映画には、平成14年に桐塑人形で重要無形文化財保持者となられた林先生の魅力が凝縮されている。

まず創意に富む桐塑人形の造形。桐塑には、桐の粉と生麩糊しょうぶのりなどを練り上げた粘土状の素材が用いられており、削ったり肉付けたりが自由にできるところがおもしろい。林先生は、確かな美意識と創意工夫によって、完成図を描かずひとがたに心に描くイメージのみで作品を仕上げている。

次に林先生の日常をとおして活写される京都の風雅。四季折々の行事や祭礼が今も息づくこの地では、人形も重要な存在として大切に受け継がれており、映画に登場する林先生の身近な人々との和やかな交流が、京の暮らしをよりいっそう魅力的にする。さらに映画の中で完成する作品「左近の桜」の気品。これは、御所・紫宸殿の南階下の東側に植えられている桜をモチーフに、その化身として現れた女官から着想された。人形には、林先生の王朝文化への憧憬とともに、畏敬の念が見事に表現されている。林先生はこの映画の撮影中、満70歳の古稀を迎えられ、人形制作への熱い想いはますます充実しておられる。この貴重な記録映画をぜひ多くの方々にご覧いただき、愛されることを心より望んでいる。



平成18年度 工芸技術記録映画

カラー 37分 記録

16ミリ 273,000円

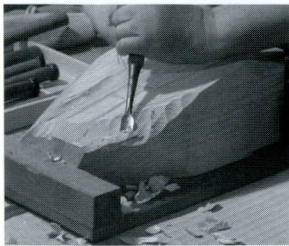
VHS・DVD 31,500円 (団体使用権付価格)
5,250円 (学校・一般価格)

企画 文化庁

製作 株式会社桜映画社

『左近の桜』制作工程

1、桐の木彫り



2、桐塑の調整と成型

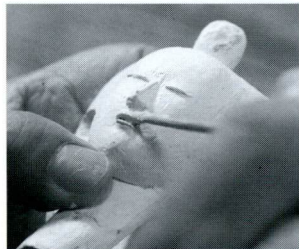
桐の挽き粉（おが屑）と生麩糊しょうぶのりを捏ね合わせた桐塑を、竹の篋かごですくい木芯の部分に肉付けする。

3、胡粉の調製と地塗り

地塗り用の胡粉を調製する。胡粉の調製は、人形制作の中でも非常に大事な工程である。

4、置上げと中塗り

地塗りが終わると、硬めに練り上げた胡粉を竹串の先につけ、目、鼻、唇などを置上げていく。次に中塗り用の胡粉を使って、地塗りの部分と置上げたものをなじませる。



5、磨きとさらえ

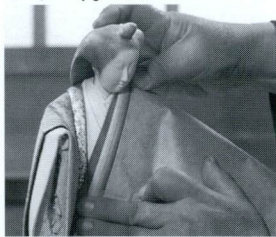
サンドペーパーで磨いた後、さらえ用の小刀を使って置上げた胡粉を削り取りながら、細部を整えていく。

6、和紙貼り

人形の表面に和紙を貼る。顔の部分に、薄く染めた柔らかい土佐の典具帖紙を貼っていく。

7、女房装束（十二単）の色重ね

五衣の色重ねは、桜のイメージで、桜色の染め和紙を一枚一枚刺し込むように貼っていく。



8、水衣地を貼る

和紙貼りの上に、桜色の濃淡に染色した表具用の水衣地を貼り、人形の表面を風合いのある仕上げにする。

9、文様付け

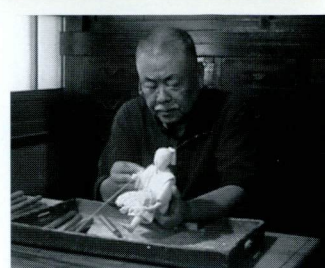


10、人形の開眼

朝の清らかな光の中で、最後に人形の顔を描く。眉と目と唇を仕上げると、人形に初めて命が入る。

11、完成

構想から制作、仕上げまで約4ヶ月、ようやく桜の〈化身〉ともいふべき、桐塑人形『左近の桜』が完成した。



林駒夫

昭和11（1936年）年10月22日、京都市に生まれる。十三世 面屋庄三より御所人形の制作技法を、また北沢如意から能面打ちを学び、さらに平中歳子に師事して桐塑人形の制作技法を修得。昭和48（1973年）、日本伝統工芸会総裁賞を受賞するなど、その作品は高く評価され、平成14（2002）年、重要無形文化財「桐塑人形」で保持者に認定された。平成16年（2004）年、紫綬褒章受章。

協力

京都国立博物館
東京国立近代美術館
京都府立総合資料館
京都府京都文化博物館
京都御苑
平安神宮
常寂光寺
青蓮院將軍塚大日堂
衣紋道研究会
山科言泰 寺石 勲
山科言和 久世建子
冷泉通子

有職結髪

南登美子 南 節子
菊池知恵子
林美木子

製作スタッフ

製作 山本孝行
脚本・演出 村山正実
演出補佐 米村栄子
撮影 山屋恵司
撮影助手 森 英男
撮影応援 木村光男
今野聖輝
照明 本橋俊男
照明助手 加々美寿夫
ネガ編集 加納宗子
選曲 徳永由紀子
録音 荒井富保
録音スタジオ アオイスタジオ
効果 帆苺幸雄
タイトル 善映社
現像 IMAGICA
ナレーター 山川静夫

重要無形文化財指定・伝統のわざの心を伝える

●人形作家 秋山信子 —心やすらぐ人形— 38分
16ミリ 283,500円
VHS 52,500円（団体使用権付価格）
21,000円（個人価格）

●刺繍 —福田喜重のわざ— 34分
16ミリ 262,500円
VHS・DVD 52,500円（団体使用権付価格）
10,500円（個人価格）

●彩なす首里の織物 —宮平 初子— 40分
16ミリ 304,500円
VHS 52,500円（団体使用権付価格）
26,250円（個人価格）

●友禪 —森口華弘のわざ— 30分
16ミリ 210,000円
VHS・DVD 52,500円（団体使用権付価格）
DVD 10,500円（個人価格）

製作 株式会社 桜映画社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1千駄ヶ谷ビル4F
TEL :03-3478-6110 FAX :03-3478-5966
http://www.sakuraeiga.com